

大好き！絵本

初瀬 恵美



『クリスマスって なあに』
文・絵: ディック=ブルーナ
出版社: 講談社

今年も残りわずかとなりました。12月といえば、クリスマス！
今月は『クリスマスって なあに』を紹介したいと思います。この絵本を書いたのは、ミッフィーでおなじみのディック=ブルーナです。
『クリスマスって なあに？』と尋ねられ、皆さんはどう答えますか？日本人にとっては、難しい質問だと思います。とても華やかで、楽しいイメージがあり、サンタやプレゼントがメインのようなクリスマス。しかし、クリスマスは神様の子イエス=キリストがお生まれになった日なのです。どんな風にお生まれになったのか、分かりやすい文章とかわいい絵で描かれています。

保育園でも毎年子ども達が『聖劇～ようこそイエス様』という劇を通してイエス様のお誕生(初めてのクリスマス)の出来事をお家の方へ伝えていきます。今年も17日(土)にあるので楽しみにしててくださいね！

さて、ディック=ブルーナの絵と言えば、体が横を向いていても顔は必ず正面を向いていることで有名です。なぜ、いつも正面を向いているのか。それは「うれしいときにも、悲しいときにも目をそらすことなく、読者の子どもたちと正直に対峙したいという気持ちのあらわれなのです」と語っていらっしゃいます。素敵ですね。(『ディック・ブルーナのデザイン』新潮社)

そして、シンプルな線については「デザインはシンプルであることが一番大事。完璧であるだけでなく、できるだけシンプルを心がける。そうすれば見る人がいっぱい想像できるのです。これがわたしの哲学。」ともおっしゃっています。(『ディック・ブルーナのデザイン』新潮社)



いつも、読者のことを考えて、絵本を作られているからこそ、子ども達の心をつかむ絵本が多いのでしょうね。今月は、ブルーナのお人柄を添えて絵本の紹介をさせていただきました。ぜひ、初めてのクリスマスのお話を絵本でも楽しんでみてください。

